

日本一、永住したい街にするために もっと！流山改革

流山市が日本一永住したい街になるために、改善することはまだまだあります。市民の皆さまといっしょに、もっと快適で良質な都市環境の実現と、市民の知恵と力が生きる市政を形にしてまいります。いざぎ義治は手を抜かず全力でやります。

検証！流山市長いざぎ義治、2期8年間の成果

流山通信簿

2011

市民の皆さまのご協力と職員の努力が、流山をどんどんよくしています。

みんなで支えていきました。東日本大震災からの復興。

被害発生時から、流山市は姉妹都市災害応援協定を結ぶ「相馬市」と連絡をとり、翌朝1時半に食料・毛布などをのせた第一便を、夕方には第二便と給水車も派遣しました。その後も、相馬市からの刻々と変わる支援要請に対し、多くの市民や市内企業のご協力を頂きながら、様々な支援活動が続けています。

また流山市の安心安全のしくみとして、

- 1 市民から緊急連絡用、防災無線に「聞こえない、聞き取りにくい」との声が寄せられました。今後、全市民に防犯・防災情報を確実に伝えることができるしくみを整備します。
- 2 学校の耐震化に続き、他の公共施設の耐震化を前倒して進めます。
- 3 個人住宅の耐震化の促進策を拡充します。
- 4 原子力発電依存を少しでも低くするために太陽光パネルの普及拡大策を充実します。被災地への復興支援は長期的対応が求められています。国、県、姉妹都市と緊密な連絡を取りながら、必要な支援ができるよう、流山市として最善の対応を続けて参ります。

新しく 流山市民になった方も、 ぜひ、お読みください。

いざぎ義治が市長に就任し、大きく発展している流山市。それは、つくばエクスプレス開業だけが理由ではありません。良質な生活環境づくりと、効率的な行政経営を進めてきた「いざぎ市政」の成果です。流山市は行政効率と情報公開などで日本一になりました。しかし、日本一永住したい街になるためには、改善すべき点はまだまだあります。次ページで詳しくご案内していますので、ぜひお読みください。



流山市長 井崎義治



討議資料

いざぎ義治のお約束

流山を、日本一 永住したい街にします。

- 1 もっと、1円まで活かす市政。
① 日本一の行政効率をさらに改善し、市民サービスの充実と安全な街づくりを進めます。
- 2 もっと、市民に役立つ行政。
② 同規模人口(10〜20万人)の自治体中、最小の人員費で充実した市民サービスを実現します。
- 3 もっと、市民に役立つ行政。
③ 広報、ホームページの改善・充実や、市民の声を集めるしくみづくりを進めます。
- 4 市民の足の確保と地球温暖化対策として、ぐりーんバスや路線バスをさらに充実させバス交通をもっと便利にします。
- 5 開発で失われた緑の回復、まち中の緑の創造、グリーンチェーン認定制度の拡充を進めます。
- 6 シニアの安心のため、特養ホーム、高齢者福祉施設、高齢者専用賃貸住宅を増設します。
- 3 もっと、可能性を引き出す街づくり。
⑦ 市立小中学校では、ティームティーチングや成果のあがる英語教育に力を入れ、よくわかる授業、楽しい学校づくりを進めます。
- ⑧ 流山本町の街並みや利根運河の自然を活かしたツーリズムを進めます。
- ⑨ 良質な住宅環境にふさわしい企業誘致で、雇用の確保と財政基盤を強化します。
- ⑩ 自立・自律の自治体確立のため、条例を整備し、市政が前進し続ける基盤を整えます。

流山市が力強く発展し、長寿社会をささえるために。

流山成長戦略

- 1 若い人口を増やします。
つい数年前までは60〜64歳が最多だった流山市。このままだと近い将来、医療・介護の費用が急増し、市民サービスの水準維持が難しくなります。そこで流山市は子育て世代に選ばれる街づくりをすすめ、街の活力と税収の安定化を目指します。
- 2 企業誘致に力をいれます。
バイオ、IT、環境分野などの企業誘致により、税収の向上を目指します。良質な住環境にふさわしい企業誘致で、雇用の確保と財政基盤を強化します。
- 3 交流人口を増やします。
流山本町の歴史と利根運河の自然を活かしたツーリズムの推進と、老朽化した市民体育館の建替えを契機に、多目的イベントにも利用できるアリーナ化により、交流人口を拡大します。交流人口を5年で5倍(現在20万人を100万人を目指します)。
- 4 地域でお金が回るしくみを作ります。
学校給食に通年で流山のお米を使う「この街ごはんプロジェクト」がスタート。さらなる地産地消の拡大をはかります。また太陽光パネル設置や耐震診断・木造住宅耐震改修、高齢者住宅改修などの補助金対象を地元事業者活用に限定するなど、市の補助事業と市民のお金が地域の中で循環するしくみを進めます。

どんどんやります。つぎのアクション

- 1 学校の耐震化に続き、他の公共施設の耐震化を前倒して進めます。また全市民に防犯・防災情報を確実に伝えることができるしくみを確立します。
- 2 市民参加条例、まちづくり条例、市民投票条例、健全財政条例を制定し、市民を主役にするしくみをつくり出します。
- 3 維持管理が困難になったシニアの住まいの賃貸・売却をサポートし、市内での住みかえを促進します。
- 4 沿線他都市や国会、議会と連携し、つくばエクスプレスの東京駅延伸を進めます。
- 5 公共事業などで談合情報入手した場合、公正取引委員会に市長自ら告発します。

ボランティア大募集!

いざぎ義治といっしょに流山をどんどん変えていく人を待っています。

カンパをお願いします!!

振込方法(郵便振替)

- 1 郵便局で青色の「振込取扱票」をもらう。
- 2 口座番号欄に「0160-6-428929」を記入し、金額欄を記入します。
- 3 加入者名欄に「いざぎ義治サポーターの会」と記入します。
- 4 ご依頼人欄に、あなたの「住所・氏名・電話番号」を記入します。

流山市長 いざぎ義治 プロフィール

昭和29年 東京生まれ(57歳) 平成15年 流山市長 学歴:立正大学地理学科卒、カリフォルニア州立大学サンフランシスコ校大学院人間環境研究科修士課程修了/著書:「ニッポンが流山になる日」「これから発展する街、衰退する街」「快適都市の創造」他

いざぎ義治サポーターの会事務所

〒270-0176 流山市加4丁目1 655番地
TEL: 04-7158-1355 FAX: 04-7158-1353
E-Mail info@izaki-yoshiharu.com

※いざぎ義治の「マニフェスト」はホームページで公開しています。

ホームページ

ツイッター twitter.com/IZAKIYOSHIHARU

